

■ 使い方など ■

単に音を入れて出力を聴くだけだから下の写真で理解してもらえらるだろう。配線にはソケットを使わず、基板から直出しにしてもいい。木の台は手近に木っ端があったので使ったままで、基板を絶縁物の上に置いたら台など無くても構わない。あれば使いやすいが。

一番大切なのはICの方向。1番ピンの位置をマークするのに、最初はマッキーホワイトを使った。案外これが白くならず、乾いた糊みたいになった。写真では黄色い丸を追加した。もしも逆差しすると最悪の場合ICが壊れる。

クロックを見ないなら下の状態でテスト開始。INPUTに信号源（ギターを推奨）をつなぎOUTPUTからアンプにつなぐ。楽器アンプでなくてもいい。私はモニター用のヘッドホンアンプを使った。アンプの音量は、最初は絞ってきておいて音が来たら少しずつ上げること。そうしないとICが不良の場合に、いきなり爆音になる。

ふたつのVRを動かしてみて、そこそこ美しいディレイ音がきちんと変化すれば、そのICは生きている。前述したがディレイタイムは規格の範囲外まで延ばしてある。VR両端で歪

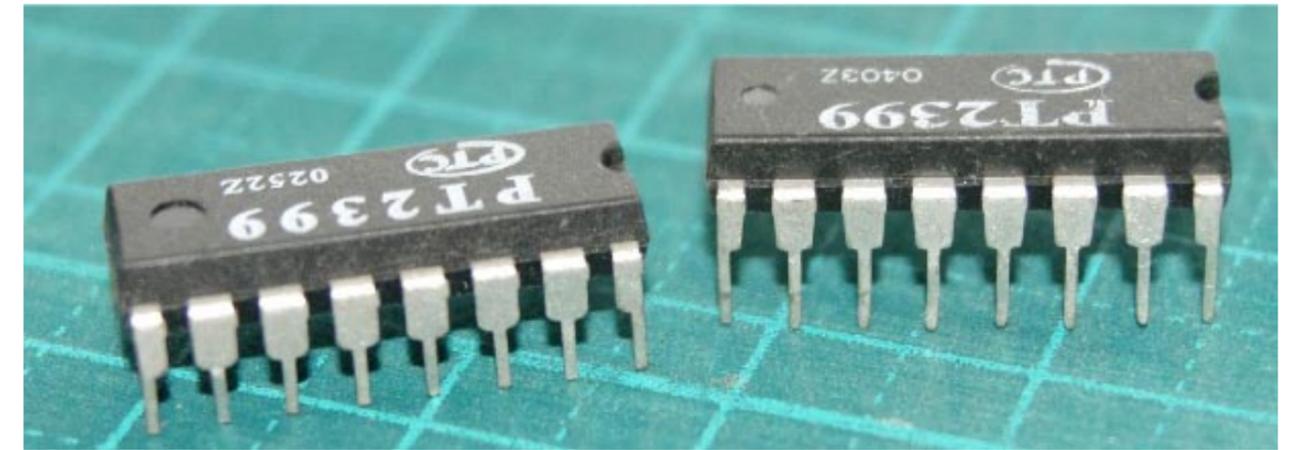
んだ音になっても問題はない。REPEATのほうは、ギター入力の場合には発振までは至らない。VRをフルにしてもディレイ音は2発目から減少する。それで正解。

クロックを見たい人は5MHz程度まで使えるオシロと周波数カウンタが必要。CLKの基板ソケットにクロックは出ている。DTのVRで周波数が変わるはず。波形は本当は矩形波のはずだけれど、まあ見てのお楽しみ。いいんですデジタルだから。とはいえ、2MHzくらいのクロックが、こんなに大レベルで出ているなんて、高調波は大丈夫？

このテストでICがきちんと動くことを確認してから本番に使えば余計な心配はなくなる。しかし、製造工程で人間の手がほとんど入らないICも、作る人が作るところまで不良率が上がる。一体どうやったらこんなに歩留まり悪くなるのか？一度習さんに訊いてみたい。

よもやこの基板を発展させてディレイマシンにする人はいないと思うが、やるなら自己責任で。リクツでは入力段とミキサを兼ねた出力段を付ければ完成するはずだけれど、どうかご自身の力で。質問されても答えられません。

最初に書いた不良品の7個は、何度もやり取りした結果、代品を送ってくる気配です。



最初に断っておくと、私は中国人が好きだ。ただし個人的に利害関係なく付き合っている場合において。利害や責任が加わると、途端にワケのわからない生き物に変身する(特に大陸人。台湾の人はそれほどでもない)。

AliでPT2399を10個買ったら7個が不良品だったことは書いた。その後、この販売者は「もう一度発注してくれ。良品を送る。値段は0.01ドルにする」と言ってきた。まあ1セントなら騙されてもいいかと発注すると、送料込みで3ドル以上がチャージされ、何度キャンセルを申し込んでも反応なし。騙しやがった！

で、再び届いたICは前回よりさらに悪質。中古品ミエミエで、中の2個は、ご丁寧にもICピンが短い。上の写真左側がそれ。販売者によればオリジナルの新品だそう。私には、どこかの廃品箱から拾ってきたようにしか見えない。こんなもの、危なくて使えない。

その販売者は **shenzhenYida Store** という。他にもかなりの半導体を扱っていたので危険度は低いと思ったのが間違い。どうやら英語はまったくわからず、私のクレームも正しく読めていない(自動翻訳しか使わないから)。しょうがないので半分簡体字で書いて文句を送ったら、少しは理解したようだ。仕事でもないのに、なんで私が中文書かなきゃならん？そもそも英語も読めずに国際販売をしようなんて考えが甘すぎる(でも中国では普通)。つまり、国際的な視野や倫理が欠如しているのが今の中国。このままなら商売も何も国内だけでやっていただきたい。習さん、頼むよ。

shenzhenYida Storeで買ってはいけないのは当然として(厚顔無恥の輩と喧嘩したいなら別)、それではどこがお勧めかというと、今のところ **Eiechip Official Store** なら大丈夫だと思う。値段はまったく変わらず発送もしっかりしている。品物は5個ずつレールに入っていてロットも揃っているし、どう見ても新品。前ページのテストボードでは全品合格だった。まあ当たり前のことだけだね。

とはいっても、この販売者がいつまでも良好とは限らないのが中国。1年後にはゴミを掴まされるかもしれない。(今日は2020年7月29日です)。

中国中央は指導力維持やモロモロの事情で「わが国は世界に冠たる強大国」アピールをやっている。政府がそう言えば国民は信じるムードになるだろう。これはどこの国でも同じで日本も例外ではない。政府に巻き込まれば、一市民の視線は国が望む視野しか持たなくなる。つまり、中国は一流国で、わが国の常識は世界に通用する！と。

それを外側から「馬鹿じゃん」と言うのは簡単だが、まったく効果は無い。ある宗教にハマった人に他の宗教の教えで対抗するようなものだ。相手を罵るだけの時間があるなら、どうやったらこちらの正当性を、言葉によって認めさせるかを考え、試すべきだろう。昨日「何故販売者は購入者に対して責任があるのか」を説明してやった。ここからやらないとダメなのだ。

安く買うには努力が必要。しかしメチャ腹が立つのもたしか。どーしてくれよう！

